

Category: **アイス・ダンス**

Subject: **パターン・ダンスの説明, 表, ダイアグラム(ノービス国際競技会)**

### キリアン (出典: ISU Handbook Ice Dance 2003, § I-12)

音楽 - マーチ 2/4 拍子および 4/4 拍子  
テンポ - 2 拍子 58 小節／分  
- 4 拍子 29 小節／分  
- 毎分 116 拍  
パターン - オブショナル  
時間 - 6 シークエンスで 50 秒

キリアンはきめ細かい正確なフットワークと回転の調和、(動作の)コントロールを試すものである。全体を通じて真っ直ぐな姿勢を保たなければならない。ダンスは左回りのだ円形パターンに沿って行う。スタートとそれに続くステップはサークルのどの部分に位置しても良いが、1 度パターンが決まったら、後に続くシークエンスにおいてはパターンのずれは許されない。右回りの回転をコントロールしなければならない。

両パートナーは全体を通してキリアン・ホールドで互いに体を接近して滑り、パートナー同志お互いについたり離れたりすることの無いように特に注意をしなければならない。男性の右手は女性の右手を握り、互いに離れることの無いように女性のヒップにしっかりと押えるべきである。男性の左手は女性の左手を握り、女性の左腕が男性の体の前を横切ってしっかりと伸ばされるようにすべきである。音楽の 16 ビートの間に 14 のステップを踏む。ステップ 3 と 4 だけが 2 ビート・ステップで、その他はすべて 1 ビート・ステップである。ステップ 1 から 3 はプログレッシブのシークエンスを形成するがステップ 3 を滑走中に(身体の)傾斜を変えてステップ 4 の準備態勢に入ることのないよう、注意をしなければならない。ステップ 3 と 4 は両方とも、チェンジやフラットを伴わない、力強いアウトサイド・エッジで行わなければならない。これらのエッジを正しい傾斜で滑ることは、このダンスを表現するためには不可欠である。

ステップ 5 から 7 もプログレッシブのシークエンスを形成し、傾斜はここでもロープのカーブに従わなければならない。ステップ 8 のスタートにおいて傾斜はサークルの外側へ変わるが、ここでは肩を強くチェックすることが、この傾斜をステップ 9 の終わりまで保つために必要である。ステップ 8 はクロス・ロールであり、ステップ 9 はタイトなクロス・ビハインドである。これら両ステップでは膝をしっかりと曲げる必要がある。

ステップ 9 と 10 はクロス・イン・フロン・オープン・チョクイーを構成する。一時的に腰を開いたポジションをとり、両膝を十分に外側へ開いて、フリー・フットである右足はスケート・フットのやや前方の氷上に下ろさなければならない。ステップ 10 のスタートにおいては、回転を抑えるために肩と腰を強くチェックする必要がある。左足は氷を離れ、ステップ 11 においてスケート・フットの後ろでクロスし、LBI エッジとなる。

ステップ 12 ではフリー・フットはスケート・フットの近くを通り越す。ステップ 13 はクロス・イン・フロントである。ステップ 12 と 13 においては、両パートナーが正しく肩を右回転させると、互いに接近してステップを踏むことが容易にできる。ステップ 14 はスケート・フットの踵の近くから踏みこむべきである。このエッジはタイミングを外し、長くないよう注意をしなければならない。ステップ 14 では膝をしっかりと曲げ、真っ直ぐな姿勢をとる必要がある。

考案者 カール・シュライター

初演公開 1909 年 ウィーン エンゲルマン・アイスリンク

Category: アイス・ダンス

Subject: パターン・ダンスの説明, 表, ダイアグラム(ノービス国際競技会)

**キリアン (出典: ISU Handbook Ice Dance 2003, § I-12)**

ホールド	番号	男性	音楽の拍数	
キリアン	1	LFO	1	
	2	RFI-Pr	1	
	3	LFO	2	
	4	RFO	2	
	5	LFO	1	
	6	RFI-Pr	1	
	7	LFO	1	
	8	CR-RFO	1	
	9	XB-LFI	1	
			XF-OpCho	
	10	RBO	1	
	11	XB-LBI	1	
	12	RBO	1	
	13	XF-LBI	1	
14	RFI	1		

